

JIA 関東甲信越支部長活動報告

2014年3月



支部長 上浪 寛

支部執行部からのメッセージ

JIAが公益社団法人に移行して1年が経ちました。様々な場面で公益社団法人であることの責任を実感した1年間でした。従来の本部主導の活動から、地域で活動する一般会員が主役となる地域貢献の公益活動を強化していくため、支部の委員会活動が活発になっています。皆様の積極的な参加と協力をお願い申し上げます。

4月17日に建築まちづくり委員会主催の勉強会が開催されます。「良質な建築と美しい街づくりのための制度を考える」と題して弁護士の五十嵐敬喜氏と都市プランナーの野口和雄氏をお呼びして都市法制改革法案要綱（素案）のポイントを解説いただきながら良質な建築と美しい街づくりのために今、何をすべきかを考えます。

http://www.jia-kanto.org/members/wp-content/uploads/2014/03/thiouoinau_.pdf

4月18日には新しく設立された支部災害対策委員会主催のセミナーが建築家会館1階大ホールで開催されます。奥尻島地震から20年が経った今、奥尻の復興の成果と東北の復興状況を考えながら、今後予想される首都圏直下型地震に備えるため、建築の専門家が何をすべきかを考えます。

<http://www.jia-kanto.org/members/wp-content/uploads/2014/03/ioeueeeoadhoyysyetheo.pdf>

支部長活動報告

- 1日 神奈川地域会の建築祭が開催される。「街の品格」と題したメインシンポジウム、4つの「まちづくりシンポジウム」、学生卒業設計コンクール公開審査及び展示、茶室デザインコンペ、建築家の仕事展など、盛り沢山のイベントだ。行政、他団体の協力を得て盛大に催された。
- 3日 支部災害対策委員会が開催される。甲府や秩父の雪災害の報告がある。自然災害が頻発しているが、地震だけに限らず、集中豪雨、台風、竜巻等の風害、雪災害などにも専門家の関わりが求められてくるだろう。
- 5日 支部国際事業委員会が開催される。上海建築学会との交流のため上海でのセミナー開催を提案する内容について議論する。

- 6日 東京三会建築会議 WG が開催される。建築士や建築士事務所の処分問題についての要望書を東京三会でまとめるため WG メンバーで叩き台を作成する。
- 7日 支部役員会が開催される。1月31日の役員会で2014年度支部活動計画、支部予算が承認されたが、地域会は2月10日を締切に本部に直接提出してもらっている。1月の支部役員選挙を経た2014年度の支部幹事(役員)が承認される。地域サミット及び東京地域連携会議の位置付けについて協議する。昨年4月に登記された新定款で地域会が正式に位置づけられたが、その代表が集まる地域サミットを支部規約に盛り込むことを提案する。
- 11日 東京建築士会の専攻建築士審査評議会に評議員として出席する。
- 13日 業務環境改善委員会発注方式 WG と東京三会建築会議が重なったため、交互に出席する。建築士処分、建築士事務所処分に関する要望書(東京都、国土交通省)を協議し、方針が固まった。次回に確定することとする。発注方式 WG では新たな要望書についての協議をする。
- 14日 東京建築士会会長の中村勉氏と「金曜の会」で、オリンピックを契機に東京を成熟した都市にする方策を考えることをテーマに対談する。
- 17日 正副会長会議に参加し規定類改定の説明を行う。本部総務委員会が開催される。正副会長会議の意見を踏まえて規定類改定の議論をする。懲戒規程は正会員に限定した。準会員については退会勧告を可能にする。国際交流基金を特別会計でなく基金として JIA 内に置く。等々
- 19日 東京地域連会会議に出席し、地域サミット並びに連携会議の位置付けについて意見交換する。建築・まちづくり委員会の最後に出席し、4月、5月、7月、9月に予定しているオープンな議論の場について協議する。
- 20日 第216回理事会が開催される。規定類改定について、2014年度事業計画について、支部運営費の配分方法について審議したほか、士法改正、フェロ-シップ委員会、JIAパンフレット、等について報告がある。
- 25日 支部法人協力会員との交流大会が開催される。様々な意見や要望が寄せられた。本部、支部、地域会の JIA 活動がバラバラにならないように。広報での情報共有をもっと進めたい。情報は多すぎることも少なすぎることもある。交流会員にとって大事なことは、正確な情報と商売に繋げること。具体的には垣根の低い正会員との関係。建築家とメーカーのより一層深い関係が欲しいが、その一方で正会員には志の高い活動をして欲しい。交流委員会、正会員との連携のために全国会議を活用したい。交流委員会が参加する各種イベントに役員以外の正会員の参加が望まれる。等々。
- 26日 JIA-KIT アーカイヴス委員会が開催される。NPO 法人認可がまだ終了して

- いないが申請手続き上の修正は終わっている。
- 27日 登録建築家認定評議会に参加する。今年の更新率は87.5% 外部評議員からは、次のような意見が出された。建築士法は資格要件しか考えておらず建築を社会資産として捉えていない。設計図書が残り伝えられていくことが大事。戦後の日本で多くの建築を作ってきたのはハウスメーカーを初めとする経済人だった。設計図書を伝えていける建築設計者を育て社会に役立てる必要がある。
- 28日 地域サミットが開催される。地域サミットを支部規約に位置付ける事を説明する。東京地域連携会議の位置づけについて、準会員、協力会員についての報告と意見交換をする。

支部長活動報告 2014年3月

2014年4月15日作成 上浪 寛